

MMQCとは「もっと儲かる業務改善」で「業務改善は、人づくり、品質づくり」を実践する着実・前向き・具体的な活動です。

### 最近、どんな事にハマっていますか？

右掲は今年3月から始めた「独り言川柳」の第1号です。世の中に「独り言川柳」が流行っていると聞いていたのですが、急に思い立って詠んでみた物です。勿論、元は俳句なので季語や韻などの知識が必要なので難しいと思っていたのですが、あるプレゼントをキッカケに心のときめきを「残春」と表現したものです。「独り言」なので自分で悦に入って、ブログに掲載して、さらにFaceBookに投稿しています。「いいね」をもらって元気を得て、その後、約1ヵ月で30本を詠んでいます。「続けられる事」＝「才能」と公式化していますが、どうやら眠っていた才能が開花し始めたかと喜んでいきます。

「ハマる」と言いますが、皆様はどんな時に体感されていますか。「独り言川柳」のように何かがうまく行くと実感した事から新しい展開が始まる経験がないでしょうか。「これは、イける！」ってヒラメキがあって、コツとして使ってみようと思う事がポイントです。つまり、何かのアクションでヒラメキを感じる事が重要になります。そのヒラメキが自分に合う事なら「ノリ」が良くなるので自然と楽しくなり、その気分で「勢い」が出来てドンドン応用されて「流れ」が形成されるという構図になります。つまり、「ヒラメキ」がポイントであり、それが「イける！」となれば「ノリ」が良くなるのです。「ノリ」が良ければ、相手も気分的に軽くなれるので波長が合いやすくなるのです。そして、「波長」が合えば双方にプラス効果をもたらすので「動き」が出来て「勢い」が出るのです。まず、この「ノリと勢い」がポイントになります。「波長」が合っていれば、継続しやすくなるので「流れ」が出来て「流儀」となっていくのです。「流儀」には客観的な「やり方」として確立する事がポイントになり、「コツ」が蓄積されて洗練されるのです。

プレゼント  
少しときめく  
我が残春

### 「マイブーム」を持とう！

しかし、一般的に見ると熱中する事が無くなっている方が多く見受けられます。いわゆる「マンネリ」の状態が続いているのです。この状態を違った角度で表現すると「老人化現象」なのです。政治家でも若い伸び盛りの方はいろんな事にチャレンジしますが、古参議員になると知名度に依存するようになって同じ話の繰り返しになってしまいます。この事は一般のサラリーマンの方にも当てはまります。ある程度の成績を挙げられるようになると満足して自分で限界を決めてしまい、「〇〇」は自分のお客様と勝手に縄張りを書いてしまうのです。

これでは、時代の変化が速くなっているのに、「〇〇」はすぐに陳腐化して業績が低迷してしまうのです。脱「マンネリ」がポイントになりますが、過去の成功体験が邪魔して、新規のことに「ノリ」が悪くなっているのです。新規の「〇〇」が現れても「直観力」が鈍って拒否反応が働いてしまうのでは、過去の成功体験がドンドン陳腐化するので時代遅れになってしまいます。確かに、新規の「〇〇」はドンドン現れるので、全てに飛びつく大変な事になりますが、中には「イける！」とヒラメキ物があるので、直観力を鈍らさない事が重要です。

「マイブーム」という言葉がありますが、「イける！」と閃いた事にチャレンジして「ノリと勢い」を活かして「熱中」する事がポイントになります。確かに、回を重ねる度に新鮮度が低下するのですが、「マイブーム」と呼ばれる状態では、創意工夫を凝らしてレベルアップを図って「達成感」を味わう事が出来るのです。熱中する「勢い」で経験を積むので急激に自分流が出来て「悦」の状態になるのです。私は「DNAが反応した」と呼んでいます、その繰り返しを無意識に行えて、外見上では「悦」のように見えるのです。「イける！」という直感を信じて「ノリと勢い」を発揮する習慣を身に付けると楽しい人生に繋がると思います。

### ワンポイント・アドバイス

実は年甲斐もなく胸のときめきを感じたのです。お互いに高齢者なので何事も起こらないと理性で分かっているのですが、異性の「罨」に反応してワクワクしてしまっただけです。「残春」は文字通り「残った春」という事なので、この状況にピッタリの言葉と思って取り上げました。この「罨」のお陰で「独り言川柳」を始めたのです。「罨」って大切と実感しています。

